

第8回

途上国でいま実現する「環境と経済の両立」

ーカンボディアでの天然ゴム生産による経済自立支援ー

かつての日本がそうであったように、開発途上国では経済発展による貧困からの脱出が最優先課題であり、環境問題まで手が届かないのが現状です。

経済開発と環境問題解決を両立させるためには先進国からの支援が必要です。ボランティアやODAと同時に、相互に対等な立場で利益につながるビジネスを展開することも必要です。

カンボディアでのゴムの木栽培と天然ゴム生産を事例として取り上げ、これらの問題をどのように導けばよいかを考えます。

- 講 師 **山田英男氏**
カンボディア王国名誉領事館 名誉領事
- 日 時 **2010年9月24日(金)**
17:00～18:00
- 会 場 **大阪工業大学大宮キャンパス**
10号館1042室
- 参加方法 **直接お越しください(定員80名)**
- 参加費 **無料**



JR「大阪」駅前から市バス34系統「守口車庫」行で「中宮(大阪工大前)」下車、徒歩約2分。
地下鉄谷町線「千林大宮」駅下車、徒歩約12分。
京阪本線・千林駅から徒歩約20分。

- 主催
大阪工業大学
- 企画・運営(お問合せ先)
大阪工業大学 工学部 環境工学科
〒535-8585 大阪市旭区大宮 5-16-1 / TEL 06-6954-4375
<http://www.oit.ac.jp/env/contents/forum.html>